北方校区の元気プラン

住民発　！　北方校区　小地域福祉活動第二次計画　　2018年　～　2022年　（5年間）　　北方校区社会福祉協議会

北方校区では平成２４年に第一次計画を作成し、平成２５年度から５年間活動を展開してきました。その結果を検証し、活動を継続展開するため第二次計画を策定しました。誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちを造るため、基本理念は継続とします。

＜ 北方校区の現状 ＞

北方校区の基礎データー

人口	10,832 人	小学校	北方小学校
世帯数	7,091 世帯	中学校	企救中学校
高齢化率	22.2%	市民センター	北方市民センター
一人暮し高齢者数	410 人	地域包括支援	小倉南３
		地域交流センター	北方地域交流センター
その他社会資源等	自衛隊　小倉競馬場　北九州市立大学　小倉医療センター		

【 北方校区の特色 】

・北方は交通網の要所であり国道・県道が交差している
・北方校区は幼稚園から大学までそろう、文教地区である
・自衛隊・北九州市立大学・競馬場・小倉医療センター等広大な敷地を保有し北方校区の約半分を占めている
・高層のマンションが多数ある

【 北方校区の課題 】

・校区内には学生も多く単身世帯が多い
・北方校区は面積が広く市民センターから南北に１キロメートル以上ある地区もある
・校区内に神社が５つありそれぞれ祭りを開催するため校区内がまとまりにくい
・国道３２２号等大きな道路が地域を分断しているので、高齢者の行動を阻む傾向がみられる

【 基本理念 】 みんながやさしさを感じるまち　北方

基本目標　１　地域の活動力の強化

○　校区行事の開催
・校区ふれあいの夕べ
・敬老祝賀会
・市民センター文化祭
・餅つき大会
○　町内会・婦人会・老人会あけぼの会の拡充

基本目標　２　安全・安心なまちづくり

◎　一人暮らし高齢者の見守りの強化
・ふれあいネットワーク活動の見守り
・老人会の友愛訪問の強化
○　安全パトロール
・まちづくり協議会による夜間パトロール
・小学生の通学路のパトロール
○　小学校・ＰＴＡとの連携

基本目標　３　全員参加の健康づくり

◎　ラジオ体操の実施
○　ふれあい昼食会
○　サロン活動
○　認知症予防のための多世代交流
○　グラウンドゴルフ

基本目標　４　情報の拡充・徹底

○　広報誌の発行・ホームページの更新
○　各組織間の情報の共有
○　町内会の回覧板・掲示板の活用

重 点 実 施 項 目

重点実施項目　1　一人暮らし高齢者の見守りの強化

1　課題背景及び現状

高齢者が多く　特に一人暮らしが多い

2　活動の方針・目標

- ふれあいネットワーク活動の見守り
- 老人会の友愛訪問の強化
- 民生委員・福祉協力員・老人会の連携強化
- 福祉協力員の増員

3　段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	H30	H31	H32	H33	H34	備　考
研修会の開催	【関係機関】 校区社協 自治会 民生委員 福祉協力員 老人会 婦人会 南区社協 市民センター 学校関係 (小中高大) 【役所関係】 区役所 警察署 消防署	→	→	→	→	→	
人材の確保 人材の育成		→	→	→	→	→	
情報の収集		→	→	→	→	→	
情報の伝達 (広報)		→	→	→	→	→	
基本台帳整備		→	→	→	→	→	
点検・整備						→	

重点実施項目　2　ラジオ体操の実施

1　課題背景及び現状

地域に高齢者が多く、特に一人暮らしの高齢者が多い
校区内 21 町内中、10 町内で実施

2　活動の方針・目標

- 町内会ごとに実施
- 指導者の育成
- 認知症予防
- 子どもから高齢者まで参加する多世代交流の推進
- みんなの顔がわかるまち

3　段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	H30	H31	H32	H33	H34	備　考
体制づくり 企画検討会	【関係機関】 校区社協 自治会 民生委員 福祉協力員 老人会 婦人会 民児協 学校関係 (小中高大) 体育委員会	→					
指導者の育成		→	→				
場所の選定		→					
情報の収集		→	→	→	→	→	
広報活動		→	→	→	→	→	
カード配布		→	→	→	→	→	
実施期間		→	→	→	→	→	
点検・評価						→	

北方校区社会福祉協議会
小地域福祉活動第二次計画策定委員会

会長　廣田仁義　　委員　飯本敏徳　坪根征治　岩中照美　井上俊二　吉村朋美　川上伸一　田尻泰久　宮浦直樹
清水友子　柏木弥生　大江珠江　梶　初美　木藤和美　原田祐児　幸野春美